

葛電新聞

葛尾創生電力とは

葛尾創生電力は、平成30年10月に葛尾村と福島発電（福島県の第三セクター）が設立した電力会社です。

葛尾村の掲げる「エコ・コンパクトビレッジ」の実現を目指し、電気の地産地消に取り組みんでいます。

葛尾村内の太陽光発電所で発電する電気を村内の対象エリアに供給するスマートコミュニティ事業、対象エリア外や、村外にも電気を販売する小売電気事業、周辺地域の再生可能エネルギー施設の保守管理事業の3つの事業が柱となっています。

工事の状況と今後のスケジュール

4月より太陽光発電所の建設がスタートし、今月からは架台・太陽光パネルの設置が始まりました。

今年度は太陽光発電所、蓄電池設備、配電線を建設し、8月以降には順次皆様のお宅やお店、施設の電気の切り替え工事を進めて参ります。

工事により皆様にご不便をおかけしてしまふこともあるかと思いますが、引き続きどうぞよろしくお願ひします。



太陽光発電所工事の様子（5月22日現在）

No.5
令和2年5月号

《葛尾村スマートコミュニティ事業 工事工程表》

設備名称	2020年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
太陽光発電設備				■	■	■	■	■	■	■	■	■
蓄電池設備					■	■	■	■	■	■	■	■
受変電設備					■	■	■	■	■	■	■	■
配電線		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
電力切替								■	■	■	■	■
EV充放電器		完了										
自立型照明	完了											
	■ 設備工事				■ 試験調整							

葛電新聞は葛尾創生電力が発行する広報紙です。葛尾創生電力と電気契約をされるご予約のお客様に配付させていただいております。



※スケジュールは変更になる場合があります。ご了承ください。
※電力切替工事に伴い、8月より随時スマートメーターを設置いたします。（事前にお知らせいたします。）

今月のトピック

電柱について

葛尾村スマートコミュニティ事業では、村内の太陽光発電所で発電した電力を自前の電線・電柱を経由して皆様の元に供給します。大手送配電会社の電線・電柱を使わずに電力を供給する例は、全国でも多くはありません。

電柱の寿命は一般的に40年と言われています。昨年の台風15号では千葉県を中心に、多くの老朽化した電柱が倒れてしまいました。村内の電柱も老朽化が進んでいるものが多く、新たな電柱を建てることは防災対策につながります。

電柱は、電力の供給以外に、電話線や光ケーブル、テレビ等の通信に関するケーブルなどが張られているものもあります。それぞれに独立しているものもあれば、複数の種類のケーブルが1本の電柱に共架（きょうが）されているものもあります。

現在村内に建っている電柱の中でまだ電線が張られていないものが、葛尾創生電力が電力の供給のために使用する電柱です。電線の張られていない電柱はなかなか見られないので、ぜひ注目してみてくださいね。



完成した電柱には「かつ電」プレートが付けられます！



電柱の底はこんな風になっています！



ホームページ
も
ぜひ
ご覧ください

KATSU-DEN
葛尾創生電力株式会社
KATSURAO ELECTRIC POWER

電気の切り替えに関する疑問などは下記までお問い合わせください。
また、葛尾創生電力は葛尾村の皆様の暮らしがより良くなるためのサポートをしたいと考えています。生活の中でのお困りごとや、こんなことがしてみたい！というアイデアがあれば、ぜひお気軽にご連絡ください。【担当：堀川】

葛尾創生電力
〒979-1602
葛尾村大字落合字菅ノ又14-4

TEL 0240-23-4312
FAX 0240-23-4302
MAIL info@katsuden-co.jp